

五霞小学校・五霞中学校は学校運営協議会制度を10月から導入して コミュニティ・スクール(CS)になりました

コミュニティ・スクール(CS)とは？

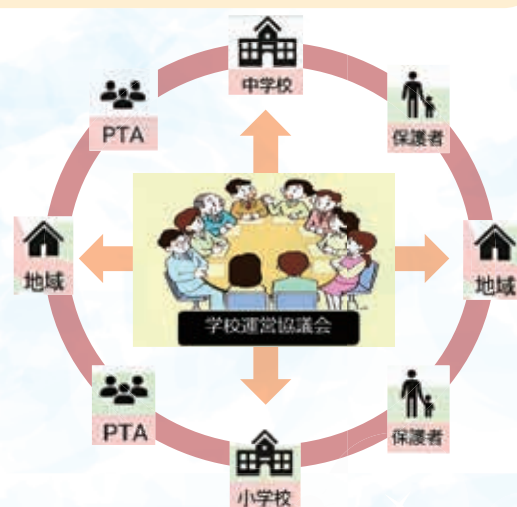
コミュニティ・スクールとは、地方教育行政の組織および運営に関する法律第47条の5項に規定する学校運営協議会制度を導入している学校をいいます。学校運営協議会は、コミュニティ・スクールの中核を担う合議制の機関です。学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となり、「地域とともにある学校」を推進することができます。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。

なぜ、コミュニティ・スクール(CS)を導入するのか？

近年、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、Society5.0・グローバル化、地方創生等の観点からも、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。**第6次五霞町総合計画**には「まちの将来を担う子供たちは、家庭だけでなく地域もその育成に関わっていくことが大切」、五霞町教育大綱には「児童・生徒の生きる力を育む教育内容や教育環境などを充実させるとともに、安全で安心のできる地域とともに歩む学校づくりに努める」と示されています。コミュニティ・スクールを導入することで、今後、地域の多くの人が学校づくりに参画し、地域と一体となり、「地域とともにある学校」づくりが進むものと考えます。また、未来を担う子どもたちの豊かな成長を支えるため、「社会に開かれた教育課程」の実現を求める新学習指導要領の趣旨にも合致します。こうした背景を踏まえ、コミュニティ・スクールを導入していくこととなりました。

コミュニティ・スクール(CS)の目的

町では、五霞小学校・五霞中学校併せて1つの学校運営協議会を設置します。9年間を見通した小中一貫教育（縦のつながり）と、学校・家庭・地域が一体となった推進体制（横のつながり）を充実させ、社会全体で将来を担う子どもたちの育ちの場・学びを支えます。コミュニティ・スクールを通して、子ども、大人、地域がともに育ちあう「地域づくり」「人づくり」を進めます。



五霞町コミュニティ・スクールの仕組み